

次世代火山研究者育成プログラム 2016年度 受講生募集要項

将来、火山専門家として、大学や国の研究機関で火山研究に携わることが希望する学生、火山災害などの自然災害の軽減に貢献する国や地方自治体、民間企業等に就職を希望する学生を募集します。

次世代火山研究者育成プログラムは、大学院修士課程学生を中心に、火山学の広範な知識と専門性、研究成果を社会へ還元する力、社会防衛的な知識を有する、次世代火山研究者を育成することを目指しています。各大学の火山学および周辺分野の講義や実習を体系化し、国内外の活動的火山における火山学実習、先端的火山研究や工学・社会科学のセミナーなどを提供し、一定の要件を満たした受講生に、本プログラムの修了証を授与するプログラムです。受講生は、講義やセミナー、国内外の火山での実習のための旅費等の支援が受けられます。また、選考の上、本プログラム2年目に1年間、RA経費による支援を受けられます。

次世代火山研究者育成プログラムは、文部科学省が2016年度から10年計画で実施する「次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト」の火山研究人材育成コンソーシアム構築事業の一環として実施される事業です (<http://www.kazan-pj.jp/>)。

1. 募集人員

30名程度

2. 出願資格

コンソーシアムに参画する大学の学部4年生、大学院修士課程の学生、大学院博士課程の1年次の学生。下記の「8. 問い合わせ先」にコンソーシアムに参画する大学が記載されています。その他の大学の学生は、本プログラム責任者に連絡ください。

3. 出願手続

受付期間 平成28年11月21日(月)から30日(水)

出願書類送付先 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

東北大学大学院理学研究科 地球物理学専攻 西村太志宛て

メールアドレス kazan-edu_at_grp.tohoku.ac.jp

注) _at_は@に変えてください。

4. 出願書類

以下の1-6項はA4用紙にまとめ、pdfとしてメールで提出のこと。様式は任意。

7項は郵送のこと。

1. 氏名、性別
2. 大学、所属学科・専攻名、学年
3. 所属先住所、メールアドレス
4. 指導教員名(学部生は担任、学科委員の教員でも可)
5. 出願理由(身につけたい能力等を記載してください)(400字程度)

6. 研究課題（現在進めている、あるいは、これから実践したい研究内容を記載してください）（400字程度）

7. 成績証明書（最新のもの。博士課程の1年次の学生は不要）

5. 選考方法

出願書類の審査により選抜する。

6. 選考結果の通知

平成28年12月9日（金）頃までに、本人宛に電子メールにて通知

7. 受講支援

コンソーシアムが提供する授業科目（野外実習、火山学セミナー等）、他大学の講義受講等について、旅費の支援をする。

8. 修了要件

本プログラムの修了には、別途定める修了要件を満たす必要がある。

9. 問い合わせ先

○プログラム責任者

東北大学理学研究科 西村太志 nishi_at_zisin.gp.tohoku.ac.jp

○プログラム担当者

東北大学理学研究科 中村美千彦 nakamm_at_m.tohoku.ac.jp

北海道大学理学研究科 中川光弘 mnakagawa_at_mail.sci.hokudai.ac.jp

橋本武志 hasimoto_at_sci.hokudai.ac.jp

山形大学理学部 伴 雅雄 ban_at_sci.kj.yamagata-u.ac.jp

東京大学理学系研究科 森 俊哉 mori_at_eqchem.s.u-tokyo.ac.jp

地震研究所 市原美恵 ichihara_at_eri.u-tokyo.ac.jp

東京工業大学 野上健治 knogami_at_ksvo.titech.ac.jp

名古屋大学環境学研究科 熊谷博之 kumagai_at_eps.nagoya-u.ac.jp

京都大学防災研究所 中道治久 nakamiti_at_svo.dpri.kyoto-u.ac.jp

人間・環境学研究科 金子克哉 katsuya_at_gaia.h.kyoto-u.ac.jp

九州大学理学研究院 寅丸敦志

toramaru.atsushi.518_at_m.kyushu-u.ac.jp

清水 洋 hshimizu_at_kyudai.jp

注) _at_は@に変えてください。

10. プログラムの内容

コンソーシアム参加機関の大学で開講されている授業科目、コンソーシアムが提供する国内外の火山での実習、最新の火山研究や工学・社会科学等の火山学に関するセミナーなどの受講に対して単位を付与します。必要な単位数を習得した受講生に基礎コースの修了証を付与します。さらに単位数を習得し、インターンシップや学会発表を行った受講生に応用コースの修了証を付与します。詳しくは、2016年度受講生便覧

(<http://www.kazan-pj.jp/consortium>内のホームページに添付) をご覧ください。